京城新聞

有望なる三千浦

三千浦は慶尙南道泗川郡に在る港灣にして近時釜山木浦間の一大良港として內外人の等しく屬望する處となり移住し來るもの日に月に增加しつゝありて將來希望の地たり今其の狀況を紹介せん

▲位置及び地勢　三千浦は釜山を東方に七十浬を距て又木浦を西方に距る百二十浬に位する地にして五千噸乃至七千噸の軍艦は自由に航行し又一、二千噸の汽船の如き出入自在たり由來釜山木浦間の沿岸線は屈曲甚だ多くしかも斷岸絕壁なるを以て良港灣に乏しく五百噸以上の大船巨舶を容るゝに足るもの絕無と云ふも不可なし只幾に釜山三千浦の中間軍事上の重要地なる馬山と漁業の根據地なる統營との兩港を存するのみ而して當港は地理上晉州と密接の關係を有し且つ東は釜山馬山統營に西は河東左水營木浦に至る水路の西津に位し南は南海昌善蛇梁新壽の諸島を扣へ北は平野連亘特に泗川附近の如き實に沃野千里の觀ありて晉州の大市場は勿論泗川及び昆陽等の各市場に於ける貨物の集散地なるが故に交通に運搬に倶に良港たるを失はず足一度此地に入る者の喫驚を禁ずる能はざる所なりとす

▲沿革及び趨勢　三千浦とは泗川郡文善面洙南面、仙芝浦及び龜坪里に連接せる入墝浦を合したる總稱にして港民の氣質は一般に獰惡にして日本人の土地家屋を買收せんとする者あれば忽ち郷黨其の賣渡を擯斥して共に崗せず甚しきは漁獲器具等を强奪し去る等一時は足を此の地に容るゝ者無きに至りしも現日本人會長大野某百方之が懷柔に努めしに偶々不法徵税をなす一團に會し大に之を膺懲して港民を救濟せるため漸次に相互の感情を融和するを得爾來日本人の續々移住するを見るに至り今や戶數四十二戶人口百四十六人に達し一方交通は日本人の計畫に成る釜山統營及び江東間の帆船運輸業者起り次で日韓協營社の汽船松江丸の定期航海の開始あり又釜山より三五丸米子丸源丸の三隻交々出入し近くは韓南汽船會社の創立あり又一面當港の西方に發立せる海拔千五百尺の山岳を崩して海面を埋立つるの計畫と晉州に通ずる道路修理の企圖等ありて海に陸に益々人馬の交通貨物の集散盛んなるべく其の前途頗る好望なり

▲戶數及び人口　昨年三月末日現在の日本人は四戶十三人なりしが越へて本年三月末には戶數三一人口九十に增加し現今に於ては戶數四十二人口百四十六を算し本月より尋常高等小學校を新設せんとする計畫あり又韓人戶數も昨年三月末日には七百七十人口三千六百二十人なりしに目下は戶數七百七十人口三千八百を超へ是亦增加の傾向を呈しつゝあり本年一月新たに巡查駐在所を設置され日韓巡查各一名宛駐在して生命財產の保護に任じ又郵便取扱所は其の郵便物を每偶數日に差立て奇數日には歸着する事となり此の回數一ヶ月十四を越へ從來に比し頗る集配の迅速を見るに至れり此の趨勢にして推移せんか天然の良港は人工の施設と相俟つて近き將來に一大發展を實現すべきなり

五月闇　(三十四)

河合柳葉

宇治の若殿樣がお越しと云ふ女中の知らせに、家扶の大山は候爵へ一禮して、其まゝ迎へに出たが、やがて候爵の室へは導かず唯ある一室に案內して對座した。

雅數は穩ならん眼色で、

「一体如何た惡いのだ、何か宗匠の宅で召上つたものが害したとでも云ふのか。」

「いゝえ、然う云ふ譯でもないのでございます。」

「醫士は何と診斷した。」

「ところが、醫士にはまだ診察させないのでございます。」

「醫士に診察させない。」

「伺ひましてございましたが、それには及ばないと仰せられますので。」

「假令それに及ばないと云はれても、那樣御容子だのに醫士に診察させんと云ふ事があるものか、早速電話を架けて招ふが宜い。」

「それに就けて、實は若樣に是非御相談申さなければならない事がございますので、只今手紙を差上げやうと存じて居つた所でございました、ところへ折能くお越し下さいましたゆゑ、失禮ながら別室へお招き申した次第でございます。なる程、御膳も召す、新聞も御覽にならない程の御病氣に、醫士を招かないと云へば然ぞお驚きなさるも御道理でございますが、此の病氣は醫士を招く必要のない御病氣でございます。と申したばかりでは御不審が晴れないでございませうが、此處が若樣へ御相談申さなければならない處でございます。」

雅數は思はず眉を顰めて一膝乘り出した。

「大きな聲では申されませんが、戀病で被在れます。」

「むゝッ、戀病ッ。」

有繁に驚いて目を瞠つた。

「イヤ驚きなさるも御無理はございませんが、全く戀病で被在れます。」

「一体何處の何と云ふ女だ。」

「イヤ、只今お話し申上げます。其の御前が想を懸けられました女と云ひますは誰あらう昨日のお山川宗匠のお妹でございます、アノ女が非常に御意に召したものと見えまして、昨夜などは其事ばかり思ひ續けになりまして、マンジリとも遊ばさないと云ふ有樣で、今朝お目覺になりましたのは例より三時間も遲れまして、大層御血色が宜しくないものですから、御機嫌を伺ひまするど、漸とロをお開きになつて仰せられたのが、只今申上げた次第でございます。それで私へ有仰るには、是非彼の女を側に置きたいから宗匠の宅へ參つて其事を申込めと仰せられまするけれど、奧方樣には天で格が違ひまする、然うかと申して苟めにも宗匠の妹を妾にどは申難ひ話でございまするゆゑ、取んだ事になつたと、私一人が大心配致して居る所でございます、どうか御家の汚にならないやう、又御前のお望みも協ひますやうな名案は無いものでございませうか、此義を御相談申したいと存じましたのでございます。」

「なる程、それやお前も嘸迷惑するだらう、が、お前の心では何と考へる。」

と、先づ徐ら問ひ返して、ジッと大山の顏を瞻めた。

▲無料紹介欄▼

人事部

●旅館か料理屋の帳場に被雇たし　姓名在社(三七)

●被雇度　年齡三十朝鮮語に至極熟練の者にて普通教育ある者　氏名在社(四一)

●求職　年齡卅歲中等教育を受たる男子會社の事務員及商店の記帳方に雇はれたし但通勤にても宿家にても宜し　姓名在社(四二)

●人を捜す　旭町一丁目に住する遠藤といへる人にて玄磯運と釜山を出願せる方に至急面會したし　泥濁　玄ツル子(四〇)

●求職　體健の靑年高等教育あつて韓語に通ず相當の給料にて就職を望む但し確實なる保證人あり　姓名在社(二九)

●質素なる家庭に疊二三枚若しくはオンドル一間借り受け家族同等の待遇にて下宿したし　姓名在社(四三)

●被雇度　旅館料理店又は商店の帳場に雇はれ度し其他余り勞力を要せぬ事何にても宜し保證人あり　姓名在社(四四)

●普通學教師を望む　某專門學校出身者午前中或は夜間學校教師を望む執中英語簿記に通ず　姓名在社(四五)

●年二十四教育有簿記精通商店經驗有午後自四時朝九時迄執務如何を不論就務し度し可成家庭的當生等望　姓名在社(四〇)

●被雇度　年廿三才にして普通教育有商業の經驗も有會社又は通勤商店員に雇はれたし　姓名在社(五〇)

●被雇度　中等教育あり商店又は會社等に雇はれたし　姓名在社(五一)

●被雇度　簿記學全科を修め銀行業に從事せし事十年銀行會社に雇はれたし　姓名在社(五二)

●女雇入　容姿普通十四才以上廿六歲以下女至急入用、依望、學問及琴曲を習得せしむ、給料面談南山町三の九六琴曲教場

●每日曜日を除き每夜午後八時より懇篤に英語を教授す月謝壹圓束脩を要せず　山の田町百十八番　英學塾(五四)

●新聞社の校正係又は外交員を希望年三十五元刑事且つ活版事業に經驗ある者　姓名在社(五八)

●長崎縣早岐生の山田太平氏に至急面會したし直ぐに住所を知らせ　(六一)

●本公望　確實なる家庭の內に下女奉公したし年十九　氏名在社(六三)

●雲母產地　至急買入たし　氏名在社(六六)

●求婚　本年二十八月收八十圓與正俸館十八九の良家の淑女と結婚したし　氏名在社(六七)

物件部

貸家　龍町大韓日報社前家賃八圓と九圓の疊建具付貸家四軒あり　南山町二曾我(三五)

●借地　明治町三丁目憲兵隊附近にて二十坪餘の貸地を求む(但惡通にて可)　京城本町八丁目　吉田傳次(三八)

●從來開業中の處突然歸國の不得巳に付醫療機械藥品及び患者付の處にて至急讓渡したし　姓名在社(四七)

●古本　買入れたし　本町七丁目　秋田屋(四九)

●蓄音機　讓たし但附屬品付二個あり　社內扱

電話　至急買たし　社內島村(五七)

●貸地　古市町韓國畜產株式會社近傍約六十坪　古市町九番戶　小縣(五五)

●旭町二丁目通湯突十五間地所附(但七十坪)安價に讓りたし　姓名在社(六十)

●**貸家**　六疊二間四疊一間永樂　高燥にて井水潔　氏名在社(六二)

●貸間　本欄入事部に御答申すオンドル間疊貳枚敷餘り庭園尤雅にして閑靜詳細は御來談を乞ふ永樂町傳道教會裏山田(六三)

古着道具買たし　本町七丁目一六綾賀(六四)

保守的反動

國民の自覺を要す

帝國の近勢に最も憂ふべき徴候あり、帝國の進運に伴はざる逆潮を呈し來れり、憂ふべき徴候進運に伴はざる逆潮とは何ぞや、守舊思想の發現なり、保守的反動の勢なり社會の或る部分を通じて歐米の文物思想に對する反抗なり、而して之に戒飭を加ふべき政府當局者が人氣取の爲に此勢に媚諛せんとする傾向あり、日本帝國をして世界的に健全なる膨脹を希圖するものは誰か此保守思想の反動に寒心せざらんや、識者は宜しく斯る偏狹迷誤の思想を打破して帝國の健全なる發達を期せざる可らず、

桂内閣の施政を見るに唯人氣取に忙はしく玉石共に燒くの傾あり、貴族院一部の保守派の唱説に動され、民間に於ける一部頑冥連の謬論に驚き此等を以て輿論の如くに誤解して盲斷するの傾向あり、之が爲に益々守舊思想を助長せしむるに至るなり、要するに桂内閣は大勢を達觀するの明を缺ける爲に保守的反動の渦中に捲き込れたるなり試に其施政の一端を見よ、女子高等教育に對する抑壓的閑論、馬券發賣禁止の如きは其一例にして表面に現はれたる保守的反動の化身なり、女子教育に於ても競馬問題に於ても偏狹なる保守一派は其利益の方面を見ずして弊害のみに着目し喧々として其粃點のみを攻撃す、守舊頑迷の愛黨には有勝の事にして深く怪むを要せざるも、多少世界の大勢にも通ずる者にして、之に雷同するに至ては甚だ愍まざるを得ず、總て事物は其弊害のみを擧げて批難するに於ては何物か批難なからんや、物は總て利害の兩面を觀察せざる可らず、彼の長を採りて我の短を補ふとは甚だ立派なる申分なれども事實に於て行はれざる俗論なり、物には總て利害の相伴ふ者なり、唯其利のみ採らんとするは苗木を植へずして菓實を得んとするに同じ、接木は大樹とならざるが如し、スペンサーの哲學、ミルの經濟論ルーソーの民約論等を輸入すれば、個人主義及革命思想の鼓吹さるゝは當然なり、其長所のみを輸入して短所を防壓せんとするが如きは決して爲し能はざる所なり、佛典を輸入すれば不健全なる厭世觀も隨從し來るなり、基督教を採用すれば歐米思想の付隨し來るは當然なり、佛法輸入せられて蘇我際遇の亂行はれ甚だしきは　天皇の弑逆を企て或は戈を採て時の政府に反抗したる事もあり基督教の播布せらるゝや國家を忘れて教に殉し或は天草の亂の如き事もあり、此等は總て其弊害の部分にして之を以て一概に佛教は惡なり基督教は邪なりと云はゞ誰か之を笑はざらんや、物の弊害のみ觀察する時に於ては總てを否定せざるべからざるに至る然るに帝國は建國以來總ての文物を先進國より輸入し清濁併呑能く之を消化して應用せり、適用は日本國民の特長なり、何物を採用するも能く之を醇化し日本的となせるは帝國民の長所なり、[illegible]保守派の唱導するが如く一部の弊害に依りて帝國の破滅を招くが如き憂は決して無し、善良なる利的部面を見ずして弊害のみを觀て驚愕するが如きは我國体と國民性とを自覺せざる頑迷固老の見のみ、今や列國を相手として世界の表面に起つ、國家の發展を策し國民を淘冶するに於ては是非世界共通の觀念を忘却すべからず、眼界を大にし思想の如きも從て共通的とならざる可らず、凡そ世界に行はるゝものは帝國に於ても行はれざるの理なし、偶々弊害ありとて之に驚愕して廢止するが如きは[illegible]れば怯なり、他國に於て健全に行はるゝものならば帝國に於ては[illegible]り、大陸經營をなさんとする帝國は必ずや此清濁併呑の雅懷なからざる可らず、帝國の醇化力は外來の事物に壓せらるゝが如き微弱なるものに非ざるなり、保守派が如何に狹隘偏見を以て騷ぎ立ち一時の形勢を動かすとも國民の自覺は[illegible]も、之が爲に勃興せんとしつゝある進運を幾分なりとも沮滯せしむるの不幸を遺憾とせざるを得ず、頑迷固陋の徒は度すべからず、唯健全なる國民は其等の絶叫に雷同せずして平靜に世界的眼光を以て新氣運に向て驅する覺悟あらざる可からざるなり、

東京電報

▲賣國奴處刑

石山眞郎　串谷國松

吳軍港の地圖を窃み露國に賣らんとせし賣國事件左の通り判決あり

輕懲役五年 石山眞郎

輕懲役六年 串谷國松

▲馬政局職員の辭職

馬券禁止に付藤波馬政局次官落合馬政官は今朝辭表を提出せり其他の會計長官も一兩日に辭職する筈(以上六日發)

各地電報

▲議員選擧の結果

當氏國議員選擧無事終了す舊議員坂田、中村、石川、島田、松崎、後藤、山本、大池、岩崎、村上、圖、久保田、田畑の諸氏再選し新候補者今西、岩鶴、田中、安武、野口、大塚、國松の諸氏當選す(以上六日釜山發)

雜報

●拓殖定欵の認可

東洋拓殖株式會社創立委員長より其の定欵認可を日韓兩國政府に申請したるは既報の如くにして韓國政府は昨六日附を以て認可する筈なりしが都合により八日附を以て日韓兩國共同日に認可する事となれり

●非訴手續

今回發布せられたる韓國非訴事件手續規則は目下統監府に於て調査中なれば一兩日內其發布を見るべし

●拓殖委員の農部參集

一昨夜歸着したる東洋拓殖株式會社韓國側委員の一行は本日午前十一時農商工部に參集し趙農相に歸着の挨拶を述べ農相は一同の今回の勞を多とする旨を告げ尚同會社に對し今後とも直接間接に盡力すべき旨を告げて散會せり

●旅團本部平壤着

第六師團第十一旅團司令部は六日午後九時三十分平壤に着したるが旅團長は師團司令部と共に來任せらるべし

●六十四聯隊本部

第六師團第六十四聯隊本部は咸鏡北道北青に置かれ六日到着せり

●軍隊の移動

九月三十日江原道通川守備隊を撤去せり十月五日步兵第十三聯隊第二大隊本部と第五第六第十中隊龍山に到着し同聯隊第八中隊は開城に到着せり十月五日步兵第六十四聯隊第二大隊(一中隊欠)は咸興に同聯隊の第一中隊は甲山に到着す

●十三聯隊一部の出發

去る四日龍山に到着したる第六師團步兵第十三聯隊第三大隊の一部隊は昨日午前八時守備地に向ひ出發したり

●安奉線改築着手期

安東縣より奉天に至る鐵道は日露戰役の爲め速成を以て建設したるものなれば線路改築の必要あり滿鐵會社にては愈々來春早々安奉双方より改築工事に着手することに決したりと

●特許受理數

統監府特許局にて八月十六日以降九月三十日迄に受理したる出願件數は左の如し

國籍別出願件數

日本十八(特許)二(意匠)二百六十一(商標)一著作權計二百八十二韓國三(商標)計三

府縣別出願件數

東京一(特許)三(商標)計四、大阪七(特許)二十六(特許)計三十三、京都二(特許)三(商標)計二、兵庫一(特許)一(商標)計二(岡山一(特許)計一、山口一(商標)計一、長崎一(商標)一(意匠)九(商標)計十一、滋賀一(特許)計一、慶尙南道三(特許)計三、京畿道三(特許)一(意匠)二百〇五(商標)一(著作權)計二百十、平安南道十四(商標)計十四、

●京城議員選擧彙報

▲期成同盟會　候補者の優勢は今更云ふまでもなきところなれども一般有權者は或一部の自稱候補者にウルサク附纏はるゝことを厭ひ今回の撰擧には棄權せんと考へし向も少からざりしが彌天下分目となりては沈靜を守り居るの却て居留地の政治に不忠實なることを悟り茲に斷然投票することゝなしたるが素より之等の人々は民團本位公共本位なるが故に擧つて同盟會の候補者二十名に投票するとの事なり

●所謂革新派

所謂革新派の候補秋吉松永林田の三氏は平常の着實なるにも似ず此兩三日來自ら車を四方に飛ばし有權者の家を軒毎に訪問しつゝありとの事なるが或筋の調査によれば三氏中最高點の見込ある秋吉氏とて當選は期すべからずと云ふ

▲公民會中央組合　本人の承諾をも得ず勝手に某々の諸氏を推して候補者となし選擧界を攪亂せんと企てたる公民、中央の兩會は昨今の形勢により到底勝を制するの見込なきを悟り運動を中止したりとの事なり

▲豫約買收　豫選外某々の自稱候補者等は自家得票の足らざるを見越し昨日來豫約買收の奇策を弄しつゝありとの事なるが思ふに如何なる有權者も如斯古手の策には掛らざるべし

▲同盟會の優勢　東部西部を通じて同盟會候補者の優勢なるは疑ふべからざる事實にて某々團体員某々組合員等の應援者の票數丈にて非常なる多數に達すべしと云ふ

▲其筋の公平　撰擧の際に理事官警察官が公平の態度を持し何等の干涉を爲さゞることは最も必要なることゝなるが今日迄の處三浦理事官桐原警視等が頗る冷靜にして公平なる態度に出られ居るは居留民の均しく多とする所なりと云ふ

●撰擧投票順序

本日行はるべき京城民團議員撰擧當日は先つ受附に於ては撰擧有資格なるや否や相違なきを取調へたる上到着番號札を渡し入場を許し入場者は民長の下にて投票用紙を受取り投票簿に捺印し各自記載席に至り記載を終れは封筒に入れて民長に提出し民長は之を投票函に投入するの順序なりと云ふ

●仁川撰擧界

靜穩中の競爭

撰擧場裡の觀測

京城民團議員撰擧界は今や混亂の極に達し居るに不拘仁川の撰擧界は至極平穩無事にして未だ何等運動をなす者見當らずとは既報せし所なるが其後の狀勢を窺ふに

▲奇怪なる運動　先づ數日前より左の人名の印刷をなしたるものを心當りの向に配布しつゝあるもの出現せり

加來榮太郎　樋口平吾　田中佐七郎

慶田利吉　力武平八　美濃谷榮次郎

奧田貞次郎　久野勝平　河野竹之助

木塚常三(朝鮮新報記者)

右によりて見るに內加來、樋口、力武、奧田、久野、河野、田中の七氏は何れも現議員にして慶田、美濃谷の兩氏は新顏、木塚氏は元より新報記者として何人も知れる所なるべきが抑も此印刷は何人の手より配布されしかといふに勿論朝鮮新報に於て印刷され同新聞外交記者某及廣告係り等が窃かに木塚氏以外の諸氏勢力範圍を廻り勸誘しつゝあるものにして○○氏は以外諸氏の撰出を勸誘し傍ら○○○○○を企圖しつゝあるもののなるが如し

▲地主派の行動　曩きに地税問題紛擾の折一般に今期撰擧期に於いて一大活動を開始すべしとは何人も想像せる所なるが昨今の狀勢を見るに案外にも未だ之れと云ふ運動に着手せず只今後の撰擧界の成行を傍觀し居るもの〻如し然れども昨日記者が某所に於て探る所に依れば地主派は成るべく表立ちて運動せず極々內密に人目に觸れざる樣內部の提携を固め澀き戰はずして勝ちを制せんと謀りつゝありと云ふ

▲朝鮮町側　例年日本町側と朝鮮町側とは相當の競爭をなすを例とせるに本年は未だ之れ等の競爭起らざるが如し然れども昨年迄朝鮮町側に未だ見ねざりし宮町新町方面の新進者等は本年に至り頭を擡げ曩きに實業同志會を組織し又信用組合組織に斡旋する等仁川の實業方面に活動するもの續出したるを以て假令同志會として選擧運動を避くるとも個人的活動は勢ひ同會員一部の團体とするも避くべからず從つて其結果は日本町側と競爭するの止むなきに至らんか現に過日も此部類の有志なる小川順助外一名は民役所に至りて花町新町方面の有權者を摘記し去り昨今弗々運動し居は事實也

▲中立派の出現　日本町側及朝鮮町側に屬せざる一種の中立派の出現は勢ひ免るべからすこは即ち平素日本町側及朝鮮町側とも離るべからさる關係を有せる一部の有力者等なり

▲日本町側は如何　日本町側は重に現議員諸氏にして內二三氏の如きは新進人士に椅子を讓るべしと公言し居る向もあれは概して他の挑戰に應ずるが如きとなかるべし即ち現議員等は皆仁川に於て元老と呼ばれ或は第一流の紳士を網羅せるを以て殊更に運動をなさずとも內三四氏を除き他は再選さるべしと豫想せられ居れり

●仁川埋立問題解決

再三討議を重ね一時は信夫理事官と獨逸領事との間に論議の花を咲かさしめたる仁川各國居留地先埋立問題は終に昨日の會議に於て埋立つることに解決し爰に落着を見るに至れり

●仁川の最終民會

豫報の如く愈々本日午後三時より現議員在任最終の民會を開く筈なるが當日附議する議案は全部議了し終りて理事官及理事者各議員は紀念の撮影をなし後富田民長は各議員を朝日樓に招待し饗宴を催す筈

●仁川各國居留地會

豫定の如く昨日午後一時より仁川各國居留地會を開き埋築問題につき討議したるが詳細は次號に報ずべし

●京龍間の交通列車

軍司令部の龍山に移轉せし故を以て東部龍山の繁榮すると同時に京城龍山間の交通頻繁を加ふる結果鐵道管理局にては今回京龍間の交通列車を一日三四回運轉せしむるやの計畫中也

●鐵道輸送同盟會の其後

韓國鐵道運送業聯合會同盟會の其後を聞くに監督廳仁川理事廳の許可を受けたるも營業上密接の關係ある鐵道管理局の承諾を經る必要あるを以て目下釜山に旅行中なる岡部長が今明中に歸任する筈なれば其上幹事は同部長の承諾を受け十五日より委員を京釜京義の兩線に派し本月中に會員の募集を終了し來月初旬創立大會を開く筈なりと

●老人星茶話會

黒田太久馬氏同夫人の催に係る茶話會は一昨日午後三時半より老人星山莊に於て開かれたり當日山莊に到りし賓客は曾禰副統監長谷川大將を始め知名の紳士貴女三百名內外に各國領事並に家族宣敎師の人々にして各三々五々に手を携へて羊膓たる山路に逍遙を試みたる後設けの天幕食堂に入り各好むところに從つて和洋兩食を採り互に談笑歡を盡して山莊を辭したるは薄暮の頃なりしと云ふ

●金巾輸入の趨勢

韓國にて使用する金巾は北韓地方は三井物産の手に由りて輸入さる日本金巾の勢力を占め居れるが仁川に輸入さるゝものは重に支那人の手にて輸入さるゝ英國產のものにして先月中仁川稅關の輸入額は四十五万餘圓の中日本物は僅かに四万圓ありたるのみにして他は悉く支那人の輸入したるものなりと云ふ

●荒井次官の歸期

上京中なる荒井度支部次官は十二日夜京城に歸着する豫定なる旨報あり

●鍋島參與官の歸省

鍋島參與官は鄕里佐賀に墓參の爲めに十日間の豫定を以て七日午後十時四十分出發歸省せられたり

●小松書記官の歸任

平壤地方に出張中なりし小松書記官は六日午後十時三十分南大門着歸任せられたり

●高瀨副理事官の任地

京城理事廳副理事官高瀨經德氏が轉任されたることは既報の如くなるが其任地は釜山理事廳にて來る十二日出發赴任せらるゝ筈なり

●秋元理事官

鎭南浦理事官は小松書記官と同行上京せられ山本旅館に投宿せり

●鐵道廳技師の視察

鐵道廳技師工藤謙氏は六日の夜龍山着二三日滯在の上運輸交通狀態を視察せられ直に滿州に向け出發せらるゝ由なるが右は滿韓運輸交通視察の爲也と

●鍋島侯令息來京

鍋島侯令息正直氏は六日八時三十分南大門着入京せられたり

●服部囑託の上京

統監府囑託服部暢氏は御用東上を命せられ七日夜行列車にて出發せらる

●拓殖委員一行の歸着

東洋拓殖株式會社創立委員會に出席の爲め渡日中なりし韓國委員の一行は川上農商工部書記官立花內部事務官と共に一昨夜南大門着列車にて歸京せり

公人私人

▲田上莞太郎氏(第六師團附三等軍醫) 一昨日來京浦尾旅館

▲吉村八十三氏(陸軍省參事官) 一昨日入京浦尾旅館

▲秋本豐之進氏(鎭南浦理事官) 一昨日入京山本旅館

▲木原才吉氏(佐賀縣水產組合技師) 一昨日下仁

▲武田秀雄氏(大嶺採炭所長海軍機關大佐) 一昨日平壤に向け出發

▲貞永勘五郎(海軍機關中佐) 同上

●近事片々

▲京城●民團議員撰擧期日は愈々本日となりぬ期成同盟會派最も優勢革新派意氣消沈

▲期成●同盟會派の候補者には硬骨正義の士に富む不平連の集合とは雲泥萬里の相違

▲御用●新聞を味方にして運動するが如き一派は在留民の代議士とするに足らざる也

▲御用●紙嘗て在留民を目して自治の能力なしと迄侮辱したるに非ずや最早忘れたか

▲自治●の能力なしと迄侮辱したる新聞を味方に取込む一派の心事は見へ透て憐れ也

▲此點●により推測するも彼の一派は到底居留民の味方に非ず警醒せよや居留民諸君

▲民長●官選擁護の御用紙を味方として官撰反對を叫ぶも何人か其矛盾を信ぜんや喝

▲京城●日報社員には選擧に關係せるもの一人もなしとの御辨明はさもこそと存じ候

▲併し●社に出勤する人にして選擧事務所に出入せるを目たる者ありとすれば如何や

▲或る●事務所より京城日報に電話を懸けてモシ〱社員を一人借して呉れ早く〱

▲斯く●電話を懸ける所を見しものありと果して事實ならば滿更緣故なきものに非ず

▲撰擧●の記事を見るも常識あるものならば革新派に關係あるや否やは見得て分明也

▲耳を●蔽ふて鈴を盗むとかの俚諺も思ひ出されて可笑し頭隱くして尻現はる隱あり

▲併し●御用紙が革新派に應援するを惡しとは言はず唯公々然たる態度たれと云ふ耳

▲居留●民の大勢は既に定るさもあるべし期成同盟の候補者は全く適材の撰擇なり

▲若し●不心得にして曖昧一派に投票するものあらば卉は居留民全体を侮辱する者乎

▲革新●派は內部に動亂を起し離散するもの少からずと聞く不平連の集合左もあらん

▲私怨●私憤の爲に公共の利害を捨てゝ迄も我意を徹せんとする沒分曉漢等にも困る也

▲私憤●私情に目も暗らみ非常識に奔走するものありとは偖々度し難き哉穴突止千萬

▲京城●日報居留地の社交なる說を揭ぐ何だか頓珍韓の樣に思はれる言ふ處是顚倒也

▲官民●融和せざる原因は居留民が官吏を除け物にする傾があるからと夫が抑も顚倒

▲居留●民が官吏を除外するに非す官吏が高くとまりて居留民と交らざるが爲ならん

▲官民●融和は官吏が今少しく平民的にならざる可らず兎角官吏は威張りたがるに困る

▲京城●日報は宜しく官吏側に向て諫言の[illegible]可き也居留民は[illegible]融和す[illegible]

●二十二回五雲會開催

寶生流一派の催しに係る五雲會第二十二回謡會は、去る四日午後一時過より大和町梅の家に於て開催せられたり、折柄當日は近日稀なる好天氣なれば相集るもの二十餘名頗る盛會なりき

●●一番目 熊阪 シテ岡本氏ワキ中村二氏、共に無難の出來なりしが地の勢なくして弱かりしは韓人の戰闘位と思はれたり

●●二番目 井筒 シテ澁谷氏（西尾氏缺席の爲め）ワキ安西氏、シテ申分なき出來なりしも惜らくは品位の足らざる樣に思はれたるは総目ともいふべきか、地は始めの内には揃ひたりしも、ロンギより浮き初めてキリには餘々しき上調子も上りて結構とは評し難かりしは殘念なりき、ワキ可もなく不可もなし、

●●三番目 柏崎 シテ本田氏ワキ長氏ツレ兒島氏、此の謡は狂女物の中最も困難なるべきを櫻川位の格にて謡ひ除けられしは御挨拶も出來不申、殊に三役とも兄たり難く弟たり難く、惡口すればシテが誰れやらワキが誰やら分らぬ謡なりき、ワキは近來入會せられし人か加賀室生の鼻につきしは余り結構ならず、

●●四番目 通小町 シテ長谷川氏ワキ吉田氏ツレ女野村氏、シテは申分なき出來たるは何人も異論なからん、ワキも東京仕込にて渡韓日未だ久しからねば所謂田舎じまぬ所あるは結構、ツレの聲の巾あつて一寸澁味の附きかけたるは、聽く者をして望を囑せしむるに足ると謂ふべし、地の最中樓下にて三味線太皷の歌々騒ぎありし爲め、小町も少將も危く躍り出し相に成りたるは、人情の然らしむる所なるべし、

●●トメ 船辨慶 シテ上郁氏ワキ田中氏ワキツレ三浦氏アヤカシ増戸氏判官小竹氏、シテは余り靜の心中を察し遣りたるが調子の沈み過ぎて華々しからず、就中「渡口の郵船」の所今一息の御奮發ありたらんにはと思はれたるは是非もなし、ワキ辨慶としては腰の弱き病みしと思はれたり、何々活氣ありてキビ〳〵と聲に今少し巾ある樣にありたきものなり、アヤカシの働て樣は結構、判官の謡に至りては言語同斷、粗末に謡ふべからざるは一と度東京にて觀能せられんには分明なるべし、元來子方役とても忽にすべきものにあらず、地は此日の中一等の出來、知盛の幽靈消滅せし事疑ひなし、安評多罪（自稱天狗）

●仁川十年貧亡黨

仁川在留者中既に二十年乃至十五年の久しき間事業の經營に任し成功して巨萬の富を嬴ち得たるものあり又想志徒らに馳せて之れに伴はず十年の間一起一倒窮りなく遂に今日に至りて相當の信用と地位とを有するに至れるも比較的財産を蓄積するに至らざる有志等は今回十年貧亡黨なるものを組織し其旗頭として荻谷籌夫湯原徇志藤村忠助氏等發起となり選擧終了後十八日萬石洞八景園ホテルに於て懇親會を催す筈

●高等女學校の母姉會 京城高等女學校に於ては來る二十一日頃より家庭と學校との連絡を計り生徒の品性を矯正するの目的を以て約百人の母姉を四回に招待し母姉會を開かるゝ由なり

●衞戍病院患者移送 京城衞戍病院患者は昨日午前龍山に全部移送せり

●京城監獄の在囚數 鐘路にある京城監獄に於ける在囚數は巳未決とも一昨日迄の現在數七百四十一名の多きに及び之れが爲め監房の狹隘を來し一房に十數名を收容するの有樣なるを以て近々西大門外の新築監獄に移すことゝし其跡には更に仁川水原等に入監中の囚人を移すべしと云ふ

●暴教員

京城居留民團立第一小學校教員中には生徒に對し亂暴を加ふるものありて之れが爲め理事官より譴責されたるものさへありしが今又た同校唱歌擔任教員某は兼てより生徒を虐遇するを以て生徒等は同教員より教授さるゝを非常に厭忌する由なるが此程も同校生徒林田某が某教員より教授さるゝを蔭にて惡口しつゝあるを某教員が聞き咎め其生徒の兩腕を捉へ二階より突落さんとせしかば生徒は大に恐れ泣き出したるを見たるものありと又た同校の女教員某女の如きも生徒が自己の意に滿たざる行爲あるときは後頭を強く押さへ付くるなどの亂暴を働く由之れが爲め生徒は此等の教員を大に恐れ登校を嫌がるもの少からずとのことなるが此の如き教員の行動は未だ意識の發達せざる兒童をして卑屈に陷らしむるを以て當局者なるものは宜しく注意の上戒飭せられたき者なりとの投書ありたり

●淸津怪美人の消息

吾こそは西大將の令孃なりと稱し巧みに幾多の男をたらして不義の金を絞り取りたる淸津の怪美人は其の后北韓新報社員の苦心により捕へられたるも同人は何時の間にやら監視の隙を窺ひ風を喰らつて遁亡せしが聞く所によれば彼は去月廿三日夕方漁夫佐藤長太郎（六十）と共に東海岸の燈臺附近に住む漁夫山田岩吉方に辿り付二三日の宿を賴み廿七日の未明西水羅に向ふ朝鮮船に便乘し情夫長太郎なるものと共に雄基方面に逃れたるものゝ如く身には召の單衣に黑襦子の晝夜帶を締め何一つ持たぬ見棄らしき姿となり米三升を携へ出奔したりと云ふ因に長太郎とは內緣を結び居れりと云ふ

●不法な亭主 長崎縣平民當時京城若草町一丁目瀧川鶴松方角脇來作（六十）は國元に居る頃より餘り心掛けの良からぬ男なるが近頃人力車夫にならんと思ひ立ちしも肝心な金が無いので困却し居りしが結局何うしても他に金策の道なき所から非道にも妻に向つて何とかして金を工面せよと迫りしに妻は出來ませぬと拒みたるを此阿魔不都合な奴だと怒り一昨日明治町二丁目の往來にて亂暴にも妻とば毆打せる所へ濱島警視通り掛り說諭を加へ無事自宅へ歸さしめたり

●料理屋で亂暴 長崎縣平民目下龍山岡田組人夫北寅助（二十）は昨日午前一時頃旭町一丁目飲食店向井イチ方に押し上り一圓九十錢の散財をせしはよきも酩酊の結果亂暴を働きし爲め警察署へ突き出され目玉を頂戴したり

●撲られ損 竹二十三統五戶吳德成方朴泳植（三十）は一昨日午後八時頃同所玉轉屋にて玉轉かしをやつて居たるに何故か日本人と喧嘩を始め散々ぶん撲られ輕傷を受けたるにぞ斯くと銅峴分署へ訴へ出たれば直樣巡査出張したれども既に日本人は立去りたる跡にて朴は撲られ損となつたのは少々氣の毒

●醉倒れ 南部明洞住林丙俊（三三）は未だ青二才の癖に一昨日午後十時頃何處で飲んだか非常に酒に醉つ拂ひ路傍に倒れ苦悶し居るより丙俊の父は大に氣遣ひ之を呼び起し家に連れ歸らんとせしに起ればこそ相變らずグウ〳〵靑天井の下にやつて居るので始末にれへぬと思ひ銅峴分署に保護方を願い出たさは困つた親泣かせの野郎だ

●指環を竊まる 南大門鐵道管理局七十六號池田虎吉宅に於て一昨日午後五時頃何者か留守宅に忍び入り代價八十圓のダイヤモンド指環及純金二十圓の指環二個都合三個を竊取せられたれば其の旨早速警察署に屆け出でたり

●晝間の竊盜 大和町一丁目鈴木重雄は一昨日午後一時頃長谷川町二丁目饂飩屋元藤庄作方に忍び入り白縮緬一筋を竊取せしが直ちに其の筋の手にて取押へられたり

●金を竊んでアバヨ 山口縣豐浦郡宇賀村中田キヨ（三五）は去月廿九日太平町料理店二葉に雇はれ情の切賣りをなしつゝありしが昨日午前四時頃主人の寢てゐる隙を窺び枕元に有り合せたる十圓五十錢をチャバツテ情夫某と何れへか出奔せり

●入渠修繕 新町若春樓の小松君香京城樓の多喜子千代子第一樓支店の信夫魁淸月樓の三吉千代大桝樓の千鳥富治は何れも激烈なる逸夜の戰鬪に終に機關部に負傷し昨日入渠修繕中なり

●赤痢とチブス 京城羽衣町六番戶安藤瀬平（二十九）は六日羽衣町八番戶鈴木イキ（三十七）は何れも赤痢に罹り明治町三丁目五十七番戶河端ソノ（三十五）は七日腸窒扶斯に罹り皆寄坡病院に送らる

●チブス二人 西大門外鐵道管理局合宿第一號舍大阪府平民藤井豐四郎（二二）及び鐵道管理局西大門驛構內甲四號原田勝藏方谷村繁次郎（二三）の二人は何れも六日腸窒扶斯に罹り同日龍山避病舍へ送らる

演藝界

▲酒井政俊一行の乘込 昨年當地に乘り込み大喝采を博したる新演劇酒井政俊一座は今回本町座と相談纏り本日午後八時三十分着にて同座に乘り込み近日中初日を開演するといへば嘸かし好評を博すべし

▲京城座の替り狂言 石見小二郎一座は腕揃のことゝて當地にては初めての開演なれど初日以來の好人氣にて毎夜大入を極め居れり本晩の出物は「廻る因果」七幕にて場割及び重なる役割は左の如し

序幕本田重平宅、塀外、本田家座敷、塀外、二淺草公園、込山の宅、三原田新之助宅、四淺草公園、五墓地、六箱妻樓裏田甫、七公判廷

本田金一郎（石見）原田權一（稻葉）原田新之助（尾崎）れ文（桂木）乳母たみの（横山）村田正雄（山岡）本田重平、巡查東田（松嘆）書生范田近夫、惡漢仙吉（松村）原田れ花（松岡）辯護士大江勉、込山刑事（青山）

●可娛欄（九） 都々逸 魚友痴史

▲大韓日報多能 ▲糸味欄へ怨言

唄ふ都々逸頭首も結句も 切目も滅茶で恐れ入る （二日の分）
原稿は拙でも植字職工が 巧妙く組込で呉りや能 （れなじく）
樂み部面を二段に分割て 仲界を隔てた情知らず （三日の分）
他の体裁も可笑しう思ふ 內輪揉めでもした樣で （れなじく）

（平）（民）（文）（庫）

▲愈々今日は撰擧の決定する日ちやマサア同盟會に反對の氣振れは夢にも出まいてな（泥峴小僧）▲井門支店の初剪姐今少し時節を待ち玉へソウ沈んで居ちやア身の毒よ（如査道人）▲唐品さん其の后ドウなすつた改悛しましたか（バナマ帽）▲過日小品文を投書しましたが未だ出て居りません沒書でせうか（白水生）▲れ氣の毒ですが文体を爲して居らずソレに八十行もあるのですが何うも赦せる譯には參りません（係り）▲また〳〵理髮業者の組合を破壞せんとするもの南山町あたりに出で來れり同業者の警戒を要す（バリカン）▲貴社の無料紹介欄は本統に出雲の神樣です私見たやうなれ多福でもれ蔭でれ嫁に參りました（薄命女史）▲南大門通りの撤水貯水桶の蓋が近頃毎日毎夜明け放しにしてあるので通行人の危險は此の上ない敢て警官の注意を促す（小官吏）▲私は給仕志願なのですが貴社で使つて下さる譯には參りませんか（新渡韓者）▲當社では差し當り必要はありません併し他にも入用な所がありませうから無料紹介欄に申し込みなさい（係り）▲ソコ等あたりの小料理屋のビールは馬鹿に高い三十五錢取る商賣が下手だナ（江戶ツ兒）▲仁川の商人は一般に頭が高い併し人格は可なりに低い（乘込車掌）▲本町一丁目の繪草紙屋の娘は實際感心な性質だ俺ア氣に入つた（世話好男）▲花月の房江姐伊藤劇が釜山に行つたので嘸ぞ御愁嘆な譯だネ（本家茶屋）▲白川さんは逃げたんぢやなくつてよ大阪に歸つたのよ（三桝印娘）

新講談

女俠秋瑾の傳(八)

故國に歸つてからの秋瑾は、差し詰め浙江省紹興府なる母の許に赴いたが、既にその時は父は沒後で、長兄某は或る縣の縣令をして居り、次兄は家にあつたが何うも兄兩人は秋瑾の歸來を歡迎しない。

『秋瑾、汝の放縱は、何う贔負目で見ても許すことは出來ぬ。』

と云つて殆ど秋瑾と絕つた、斯くなると流石は女だ、戀しくならずには居られない、即ち左の一詩を置土產に飄然として家を去つた

煉石無方乞女媧。白駒過隙感龍華。瓜分慘禍依眉睫。呼告徒勞費齒牙。祖國陸沈人有責。天涯飄泊我無家。一腔熱血愁回首。腸斷難爲五月花。

一詩を遺して飄然家を出た秋瑾は、直ぐその足で上海に赴き、自から女學雜誌を創刊して、盛に女學を提倡した。これを手始めとして更に女子體育會を起し、自から教員となつて柔軟體操や徒步教練などを教へる時には秋瑾先頭に立つて『オ一二。〳〵。』と駈步を踏んで居ることもあつたが、秋瑾の成功が又た駈步的で、間もなく大通學堂の名譽贊成員となり、兼ねて明道女學堂校長に任せらるゝと云ふ仕合せ。嘗て大通學堂の經費困難であると云ふことを聞くや、秋瑾は自から二千金を投じてこれを維持した。斯う云ふ風であつたから、秋瑾の名は瞬く内に女界の明星の如く輝いたのである。名のある所は誹りこれに從ひ、喬木風に折らるゝ譬へ。秋瑾は一方民間に名聲が高くなつて來ると共に、漸次官邊に憚られて來た。

『何んと秋瑾と云ふ奴は忌まゝしい奴ではござらぬか、動ともすれば「四十萬人齊解甲。曾無一個是男兒」と、明末の慷慨女史が詩句を口にし、殆んど中國人なきの振舞、女の分際でありながら不屆至極な奴でござる。』

『如何さま秋瑾の詩を見るに、何れも慷慨淋漓の憤語で固め、未だ風流閑雅の字句は見たことはござらぬ、彼れでは革命黨を煽動して、平地に風波を起し、中國に仇をなす、あつて益ない奴、早く何んとかせずは相成りますまい。』

危險秋瑾は、清國の官人から三角の眼で睨まれるやうになつた。その色氣のないこと甚しい。時に晴天の霹靂は浙江の天に轟き、突如徐錫麟の事變は起つた。云ふと云はぬと人心はこれを兆象とし、革命の暗雲が頻りに動き出した。其所で氣が氣でないのは清國官吏で、色玻璃のサーチライトは頻りに四方に回轉する。遂に秋瑾も此の光線中に入るの不幸に陥つたのである。

左ノ諸氏ヲ民團議員候補者ニ推薦ス

西部選擧區（イロハ順）

和田常市　田中始一郎　曾我勉　中島司馬之助　增田三穗　前田熊市　三好和三郎　進辰馬　城六太　森勝次

東部選擧區（イロハ順）

石井新　濱野德次郎　梶原末太郎　田村義次郎　中村再造　釘本藤次郎　山口太兵衛　古城管堂　菊池謙讓　關繁太郎

民長官撰令撤廢期成同盟會

株式會社 第一銀行

電話番號

第一一番 國庫部、發行部、營業課、當直用
第三一一番 國庫部、發行部、營業課用
第六一一番 支配人、調査部、文書課用
第三三一番 用度係、分析所用、臨時建築部用

新築落成入院隨意

眼科 內科 外科

明治町壹丁目本町座前

松岡醫院

電話六七五番

軍隊用

ビスケット 寶來豆 萬歲豆 八ツ橋

京城南大門外吉野町

塚本甘泉堂

(大) ⌂ (萬)

特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目

大上商店

(電話二五一番)

和洋酒、回精酎、穀物麵類、銘茶、鑵詰、乾物荒物、食料雜貨、ビール特約販賣

用途 火持善く火力耐久價格低廉 瀛鑪、暖爐、竈用に適す

周防德山海軍省煉炭所東隣

谷口無煙煉炭工場

韓國一手販賣

京城太平町二丁目

神田組

京城本町壹丁目

シノサキ書店

營業品目

▲和洋雜貨類▼
○和洋文房具御小賣
○測量製圖器械尺度類
○最新式眞筆版 謄寫版 發賣元
▲諸官衙用達▼

太物洋反 綿類蒲團

(あ)

京城郵便局前

秋山商店

電話一七六番

會席料理

開業御披露

さやけき月の宿る露、けふ此頃の麗はしき花野ならねど本日より京城本町六丁目有明樓支店跡に花々敷開業仕候て料理萬端注意を加へ一大奮發を以御意に叶ふ樣勉強可仕候間御贔負の程奉願上候

京城本町六丁目(有明樓支店跡)

會席 西洋 御料理

しん福

人蔘藥湯開始

秋冷之候各位愈御清勝奉慶賀候陳者弊湯日尚ほ淺きにも不拘御華客様方の御引立に依り益繁昌仕り候段奉深謝候就ては今回平素の御愛顧に酬ひん爲め内部の大改築を施し浴場は固より湯槽を廢め万事清潔を旨とし且つ用水は水道以上の良水なる事は各位の御承知に候得者猶に倍し陸續御入浴あらん事を奉願候敬具

今般横手に更に家屋を建築致し漸く落成仕候に付漢城製藥所長渡邊藥劑師の配合に係る有名の朝鮮人蔘藥湯を本日より開始致候に付ては浴場は勿論湯槽に至る迄廣く清潔なるは申に及ばず藥湯の効能は左に略記致候間御試み旁御來湯の程奉希上候

明治四十一年十月

南大門通二丁目 電話一六四番

南門湯

朝鮮人蔘湯効能

一子宮諸病　一神經衰弱　一腸胃病
一下痢症　一リウマチス病　一病後の衰弱
一貧血病　一冷症　一産前産後
一血の道　一風引　一疝氣瘰癧
其他萬病に宜し

追て弊店氷販賣所は明治町一丁目にて營業致居候處都合に依り南大門通二丁目南門湯内にて氷營業販賣仕候間眉者の電話に御用命被下候はゞ早速配達可仕候に付多少に不拘御需用奉希候也

氷販賣店 南大門通二丁目(電話一六四番) 羽多野松太郎

東京生蕎麥開業廣告

東京 生そば

並に天麩羅、蒲燒 ほねぬきどぜう 御料理仕出し

南山町三丁目

天金

電話開通 五九二番

高岡洋服店

京城明治町壹丁目

一ケ月八圓の下宿

黃金町

統明館

(明治町突當り)

開店御披露

かしわ 牛肉

本町五丁目廿五番戸

統監府御用達

植島商店

電話三〇九番

右肉類精々御安く販賣仕候間多少不拘御用命仰付被下候へば早速御配達可致候

營業科目

活版活字鑄造　石版銅版　木版彫刻　コロタイプ版　寫眞版　諸帳簿　製本裝釘

今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱[illegible]

日韓印刷株式會社

本社 京城明治町三丁目 電話(三二三番)

東京出張所 東京京橋區南鍋町一ノ十 電話新橋(二九六二番)

純良牛乳 消毒安全

開店御披露

かしわ 牛肉 すき燒

多少に拘らず出前可仕候

南山町一丁目松葉亭隣

とり清

茶 宇治銘茶 薄茶道具 紅茶コーヒー 卸小賣

(吉) 開春園

京城旭町二丁目

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 郡回漕店 電話三九番

京城南大門通 巴商店 電話三〇六番

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 月 日 後三時出帆
●大連、大沽、牛莊行 高砂丸 十月十三日 前五時出帆
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 十月十五日 後一時出帆
●釜山出帆、元山淸津、浦鹽行 立神丸 月 日
●新潟丸 十月五日正午 大連行

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事

●新聞料 一枚金二錢 ▲一ヶ月前金卅五錢 ▲三ヶ月金[illegible]
●廣告料 五號活字十九字詰一行一回四十錢 ▲[illegible]
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太郎
發行所 京城新報社